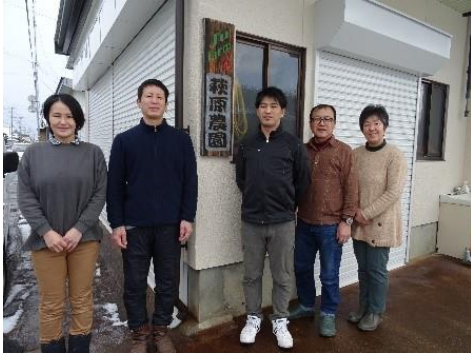


やまがた農の匠

～令和5年度グッドハーベストコンクール受賞者のトップ技術～

県知事賞 大豆の部(個人) 高畠町 萩原 拓重 氏



萩原農園のみなさん
(中央：萩原拓重氏)



圃場の様子
(左：生育の揃った大豆畑、右：圃場に掘られた明渠)

品種 「すずかおり」

収量 352.3kg/10a

経営面積 25ha (うち大豆 13ha)

Point 排水対策と適期播種で出芽・苗立ちを揃え、大豆の高品質多収栽培を実践

高収量技術の肝

- ・ 出芽・苗立ちを揃えることを第一に①圃場周縁部及び圃場中央部への明渠設置とプラソイラによる透・排水性の向上②圃場ごとの土壌条件に合わせたきめ細かな耕耘を実施している。
- ・ 基肥は、前作の生育状況を踏まえ「鶏ふん」または「石灰窒素入り化成」から選択し全層施肥。さらに播種時の側条施肥により初期生育量向上を図っている。
- ・ 出芽後は、こまめに中耕・培土に入り（レーキ式除草を含め4回）、土壌環境の向上と雑草の抑制、高畝化による排水性の向上・コンバインの収穫ロス低減につなげている。
- ・ 開花直前の追肥で莢数・一莢内粒数・百粒重を高めている。
- ・ 収穫後は、大豆粒径選別機のほか色彩選別機を通し、必要に応じて手選別を実施し、高品質な大豆出荷を心がけている。
- ・ 一部を大豆菓子用として加工し販売しているほかは全量実需者との契約栽培とし、9品種を作付けしている。

県知事賞 大豆の部（団体）

天童市 株式会社おしの農場



おしの農場のみなさん



圃場の様子

品種 「里のほほえみ」

収量 258.5kg/10a

経営面積 115.7ha（うち大豆 12.8ha）

Point

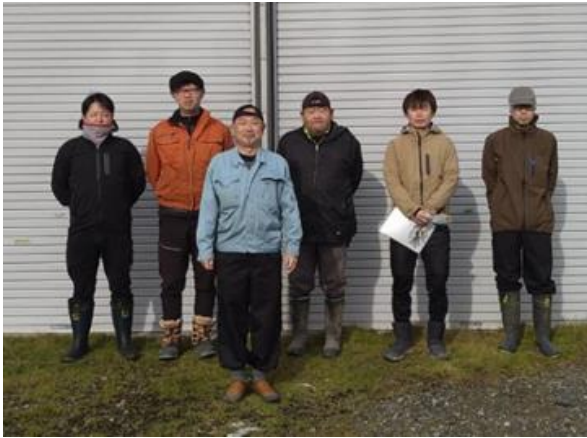
基本技術の徹底とスマート農業技術の導入で、効率的・安定的に収量を確保！

高収量技術の肝

- ・ 額縁明渠施工やサブソイラーによる排水対策を徹底し、出芽率向上や初期生育確保に努めている。
- ・ スタブルカルチの実施により、土壌の物理性改善や透水性向上を図っている。
- ・ 苦土石灰投入により土壌の酸度矯正を行い、生育確保に努めている。
- ・ 基肥に鶏糞を利用することで地力の維持・向上に努めるとともに、肥料費の低減を行っている。
- ・ 自動操舵システムを導入した精度の高い播種・中耕培土を実施し、作業効率向上を図っている。
- ・ ドローンによる病虫害防除や追肥を導入し、省力化を図るとともに、大豆の生育に合わせて適期に防除や追肥を実施している。
- ・ 地域内水田における効率的な畑作経営の組み合わせを検討している（大豆、子実用とうもろこし）。

特別賞 大豆の部（団体）

鶴岡市 農事組合法人しもがわ



農事組合法人しもがわのみなさん



圃場の様子

品種 「エンレイ」

収量 256kg/10a

経営面積 70ha（うち大豆 31ha）

Point 排水対策、灌水、適期作業の励行で高収量大豆

高収量技術の肝

- ・ 植酸を3年に1回施用する土づくりやブロックローテーションを1年おきに実施し、雑草対策や地力の消耗を防止している。
- ・ 明渠の施工や、スピードカルチを用いて作土深を確保するなど排水対策や土壌条件の改善を徹底。
- ・ こまめな圃場観察を行い、適期中耕培土や雑草・病虫害の適期防除、開花期灌水も積極的に実施している。
- ・ 汚損粒を防ぐため、残草や青立ち株の手取り除去を徹底している。

県知事賞 そばの部（個人）

寒河江市 柏倉 和幸 氏



柏倉 和幸 氏



圃場の様子

品種 「でわかおり」

収量 88.9kg/10a

経営面積 9.0ha（うちそば0.4ha）

Point 適期適作業と生育に応じた追肥技術で安定収量を確保

高収量技術の肝

- ・ 明渠施工による排水対策の徹底で湿害を回避し、安定した苗立ちを確保している。
- ・ 適期播種を徹底し、生育量の確保に努めている。
- ・ 生育に応じた開花期追肥を実施して、収量を高めている。
- ・ 丁寧な刈取作業を心がけ、収穫ロスを低減している。

県知事賞 そばの部（団体）

天童市 高揃そば組合



高揃そば組合の皆さん

品種 「山形 BW 5 号」

収量 78.3kg/10a

経営面積 30.4ha（うちそば 30.4ha）

Point 適期播種、適期刈取りで収量向上！

高収量技術の肝

- ・ 出芽率を高めるため、丁寧なロータリー耕による碎土率向上に取り組んでいる。
- ・ 圃場毎の地力を考慮して基肥散布量を調整し、収量の向上を図っている。
- ・ そば単作の栽培としているため、作業競合がなく、適期播種作業を実践している。
- ・ 夏季の高温や9月の降雨による倒伏の影響で、圃場間の成熟のばらつきが大きく、刈取適期の判断に苦慮したため、圃場巡回を実施して圃場ごとに刈取時期を判断した。適期に刈取作業を行ったことで、収量向上につながった。
- ・ 天童市高揃地区の耕作放棄地解消対策として、そばの作付けを行っている。

県知事賞 飼料用米の部（個人）

酒田市 齋藤 智 氏



齋藤 智 氏

品種 「ふくひびき」

収量 808.2kg/10a

経営面積 6.3ha（飼料用米 1.2ha）

Point 大豆との輪作により、低コスト多収生産を実現

高収量技術の肝

- ・ 1～2年毎に、大豆後作との輪作体系を行っている。
- ・ 50株/坪の疎植栽培で使用苗箱数を減らしている。
- ・ 除草剤の使用は一発処理剤1回のみとし、低コストで環境にやさしい栽培を行っている。
- ・ 土壌の異常還元防止のため、水交換や田干しを実施して初期生育量を確保し、適期に作溝中干しを実施して生育調節をしている。
- ・ 中干し後に、ケイ酸資材の散布を積極的に行っている。

審査員特別賞 飼料用米の部（個人）

鶴岡市 廣井 嘉治 氏



廣井 嘉治 氏

品種	「ふくひびき」
収量	762.5kg/10a
経営面積	4.0ha（飼料用米 0.6a）
Point 大豆と飼料用米の輪作は相性抜群！	
高収量技術の肝	
<ul style="list-style-type: none">大豆連作年数の上限を3年とし、圃場の地力維持と雑草密度抑制を両立している。栽植密度を坪当り60株（主食用米は坪70株）とし、稲姿を「穂重型」となるように管理して、倒伏を回避している。大豆と輪作することで圃場の水持ちが悪くなるので、水管理には手を抜かない。土が締まりやすいので一度切った作溝は崩れにくく、登熟期間中も効率的な入水・排水を実現している。	

高収量技術の肝

- 大豆連作年数の上限を3年とし、圃場の地力維持と雑草密度抑制を両立している。
- 栽植密度を坪当り60株（主食用米は坪70株）とし、稲姿を「穂重型」となるように管理して、倒伏を回避している。
- 大豆と輪作することで圃場の水持ちが悪くなるので、水管理には手を抜かない。土が締まりやすいので一度切った作溝は崩れにくく、登熟期間中も効率的な入水・排水を実現している。

審査員特別賞 飼料用米の部（個人）

山辺町 長岡 純一 氏



長岡 純一 氏



圃場の様子

品種 「ふくひびき」

収量 756kg/10a

経営面積 0.7ha（飼料用米 0.6ha）

Point 生育状況に合わせた適期・適量の穂肥で安定収量を確保！

高収量技術の肝

- ・ 受光態勢の向上や倒伏防止のため、50株/坪の疎植栽培を実施している。
- ・ 地域の生産部会で圃場巡回を行い、稲の生育状況を確認して穂肥適期を判断している。高収量を確保するため、幼穂形成期、穂孕期、穂揃期の3回追肥を行っているが、倒伏しないように施用量を調整している。
- ・ 立毛乾燥を行っており、籾水分が20%以下まで低下してから刈り取って、乾燥調製に係るコスト低減に努めている。
- ・ 山辺町飼料用米プロジェクトにおいて、収穫した飼料用米をブランド豚「舞米豚」の飼料に配合している。「舞米豚」の堆肥を圃場に散布することで、地域内の循環型農業に取り組んでいる。